



どうぶつこうえん
 ニュース No.76
 2010 summer

おかげさまで千葉市動物公園は開園25周年
 25th Anniversary 1985-2010
 Chiba Zoological Park

Topics

エジプトハゲワシ舎のリニューアル

エジプトハゲワシの展示場の改修工事が2010年3月に終了しました。これによって、前面が金属性の格子になり、天井は金網で囲われました。

改修工事にともない、今までより少し見えにくくなりましたが、エジプトハゲワシにとっては、定期的に捕まえられて、片方の翼を仮切りされていたのがなくなり、羽を伸ばせるようになりました。これからは、左右の羽のバランスがとれ、きれいに羽ばたく姿がご覧いただけます。

エジプトハゲワシは、石を使ってダチョウの卵を割るという習性があり、道具を使う鳥として知られていません。当園では不定期ですが、石を使ってダチョウの卵を割り、中身を食べる姿をお見せしています。現在、3羽中2羽が展示場にダチョウの卵と小石を置くと、小石をくわえ首を振り上げ割れるまで何回も卵に石をぶつける様子をご覧いただけます。

エジプトハゲワシは、1988年より飼育を始め、2002年には、1羽になってしまいましたが、新たに2007年に雄1羽・雌1羽が来園しました。来園したばかりの2羽は、まだ幼く顔の色が黄色になっておらず、1羽は、幼体の羽毛で褐色でしたが成長するにしたがって白くなっていきました。

日本の動物園では、当園の3羽しか飼育されていません。さらに展示場の環境を整えていき、今後、雛が生まれることを期待しています。

石井 信一 (ISHII SHINICHI)



目次 CONTENTS

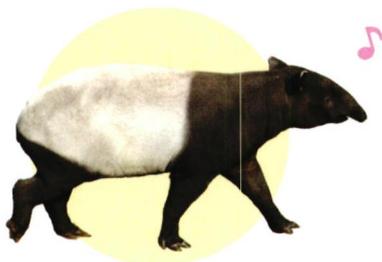
- 表紙【フクロテナガザル】…………… ①
- トピックス…………… ②
- 特集 開園25周年…………… ③～⑤
- 新着動物紹介…………… ⑥
- 動物公園日誌から [10.1/1～10.3/31] …… ⑦
- サポーター会員募集のお知らせ…………… ⑧
- Information…………… ⑧

表紙の動物説明 フクロテナガザル

フクロテナガザルは、サル目(霊長目)テナガザル科の1種で、テナガザル科には9種おり良くサルと間違えられますが、小型類人猿とも呼ばれ、体に比べ大きな脳を持ち、知能が発達しています。類人猿の特徴は尾がなく、腕(前足)が後ろ足に比べて長くなっています。また、フクロテナガザルの特徴の一つは、後ろ足の2つの指が皮膚でつながっていることです。二つ目は、自分の頭と同じくらいの大きさにまで膨らむ大きなど袋を持ち、森に響き渡るほど大きな低い反響音が出ることです。完全に木の上だけで生活し、大型類人猿のように巣は作りません。分布域は、マレー半島とスマトラ島です。テナガザルは腕渡り(プラキエーション)のできる唯一の類人猿であり、当園では、開園当初より展示場内に雲梯を張り巡らしその行動をご覧いただいております。さらに縦の行動も見頂くため、平成22年3月末には人工的ではありますが、電信柱と消防ホースを利用して展示場を一部改修しました。異論はあろうかとも思いますが、飼育下での環境エンリッチメント上、動物がいかにか一日限られた空間で飽きないように過ごせるかにはこうした人工的なものでも良しとする考えがあります。こうした考えは、まず動物の福祉を優先させたものです。

小林 正典 (KOBAYASHI MASANORI)

撮影：宮川 千尋 (MIYAKAWA CHIHIRO)



動物飼育数

平成22年3月末現在の飼育数

哺乳類 66種420点

鳥類 71種310点

爬虫類 6種 29点

両生類 1種 2点

魚類 1種 1点

総計 145種762点

25周年記念特集

開園25周年を迎えて

1985年（昭和60年）4月28日、前日までの雨が上がり、開園を祝福するかのように澄んだ五月晴れとなった開園初日から早25年が経ち、入園者数も1889万人（平成22年4月末日）を数えています。園内は、時代に合わせて新規施設を整備し、老朽化した施設の改修により来園者の方のニーズに応えるようになっていきました。展示動物の中にはマスコミで取り上げられるような動物も多数おり、この動物だけを見に来るといってコアなファンの方もいらっしゃいます。ここでは開園から現在までの動物公園の歴史を振り返り、また、今年度予定の25周年の記念事業などについてお知らせします。

1985年（昭和60年） どんな年だったっけ

総理大臣 中曽根康弘

アメリカ大統領 ロナルド・レーガン

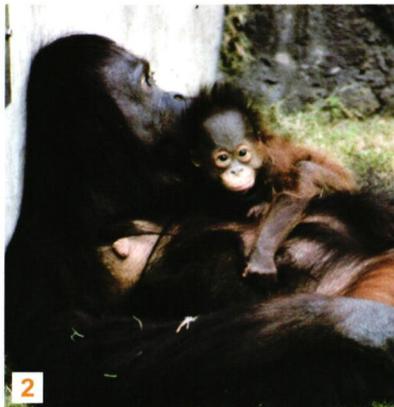
- NTT、JT設立 ●日航ジャンボ機墜落
- 大鳴門橋開通 ●松田聖子と神田正輝結婚
- 阪神タイガース日本一 ●科学万博つくば 85
- ニューステーション放送開始 ●1ドル 200 円を突破

- 新製品 ●ショルダーホン ●ワープロ東芝ロボ
- ミノルタα7000 ●スーパーマリオブラザーズ
 - いちご大福

流行語 ●新人類 ●ダッチロール

レコード大賞 ●ミ・アモーレ（中森明菜）

連続テレビ小説 ●湾っくし



年	その年の動物公園の大きな出来事
1985	一次開園
1986	ミユビナマケモノ受贈
1987	モウコノウマ繁殖 ▶Photo 1
1988	二次開園
1989	モモコ・モンタ新着
1990	オランウータン(ナ)誕生 ◀Photo 2
1991	遊園地(ドリームワールド)開園
1992	入園者500万人達成
1993	ヒオドシジュケイ国内初繁殖
1994	ゲルディモンキー国内初繁殖
1995	アカハナグマ受贈
1996	秋篠宮殿下ご視察
1997	ヘビクイワシ繁殖
1998	入園者1000万人達成 ▶Photo 3
1999	ゾウの骨格標本受贈
2000	モモコ、モモタロウを出産
2001	子ども動物園リニューアル
2002	モモコ、モモタロウ里帰り ◀Photo 4
2003	オランウータン舎新設
2004	風太新着
2005	風太人気爆発 ▶Photo 5
2006	フタユビナマケモノ、バードホールへ
2007	エジプトハゲワシ新着
2008	モモコ、モモタロウ上野へ
2009	フタユビナマケモノ(タマチン)、人工哺育の日本新記録更新 ◀Photo 6



ゆめパークちば (ドリームナイト・アット・ザ・ズー) 開催のお知らせ

このイベントは1996年オランダのロッテルダム動物園が難病・慢性疾患と向き合っている子どもや、障がいのある子どもたちとその家族を閉園後の動物園へ招待し、その家族のためだけの特別な夜を過ごしてもらったことに始まり、2010年2月現在、世界36カ国、205の動物園水族館がこの意義に賛同し実施しています。

毎年6月の第一金曜日の夜に世界同一開催し、難病・慢性疾患の子どもや障がいのある子どもたちとその家族に、動物園という場を通して安らぎと憩いの一時を過ごしてもらうのが目的です。

もともとは夜に実施されたイベントなので、本来の名前はドリームナイト・アット・ザ・ズーですが、日本国内の他の園では6月は梅雨時ということもあって時期をずらして実施しているところもあり、当園では照明等の問題もあって、夏の夕方に実施することとし、名前も「ゆめパークちば」として開催します。

- 開催日** 平成22年8月23日 (月)
- 時間** 午後3時～6時
- 対象** 18歳未満の身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、特別支援学校等に在学中の方
- 定員** 70組
- 参加費** 無料
- 応募方法** 往復はがきに、保護者の住所氏名、お子さんの氏名(年齢)、手帳の有無(有りの場合は種類を記載)
来園方法(モノレール・車)、参加人数、車の場合の台数、電話番号を明記し、7月3日必着で
〒264-0037 千葉県若葉区源町280 千葉県動物公園「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」事務局

あなたもチャレンジ!!

開園25周年記念 動物公園検定



動物公園に関するあらゆる面からの問題25問に25分間で挑戦してもらいます。

- 申込方法** 7月1日に市政だより及びホームページで発表
- 期日** 8月14日(土) 午後1時30分～
- 会場** 動物科学館レクチャールーム
- クラス** ①高校生以上 ②中学生
③小学校高学年 ④小学校低学年
- 定員** 各組25名
- 受検料** 検定料 300円 ※入園料は別途負担
- 結果発表** 8月31日郵送
記念品、認定証など



都川いきもの広場(ミニ水族館)オープン(予定)

千葉市中心部を流れる都川は、一時期水質が悪化しましたが、下水道の普及に伴い最近ではアユやメダカなどの多様な魚類が生息し、サケも遡上する豊かな生態系を持つ川へと復活してきました。(下図)動物公園の西側には都川水系の葭川へ注ぐ「ろっぽう水のみち」があることから、都川の生態系をそっくりそのまま動物公園内に展示し、復活した都川の状況を市民に確認していただき、子どもたちには環境保全の

大切さを学んでもらうための「都川いきもの広場」(ミニ水族館)をNPO法人「都川の環境を考える会」の協力の下、展望デッキ下に設置するものです。

この水族館は市民の皆様から寄贈された水槽を使用し、一部の購入品は動物公園サポーター会員の方々から提供された資金を活用します。運営・管理はNPO法人、動物公園、動物公園協会が連携しておこないます。このような「手作り水族館」ですが、市民に親しまれる都川水系に生息する植生物を展示する水族館は、千葉市では初めての施設となります。

確認できた都川に生息する植生物

魚類	キンブナ	ヤマベ	ウナギ
	マブナ	ウグイ	ニホンナマス
	モロコ	アユ	カワアナゴ
	モツゴ	サケ	ブルーギル 外来種
	ヨシノボリ	メダカ	ブラックバス 外来種
甲殻類	ヌマチチブ	ドジョウ	
	ギバチ	スナヤツメ	他数種
	モクスガニ	スジエビ	カワエビ
水中昆虫等	手長エビ	ヌマエビ	他数種
	ヤゴ	カゲロウ	ミズスマシ
	アメンボウ	カワゲラ	ユスリカ
爬虫類	ゲンゴロウ	トビケラ	他数種
	イモリ	ミドリカメ 外来種	
両生類	トカゲ	ヘビ	他数種
	トノサマガエル	ウシガエル 外来種	
	ヒキガエル	アカガエル	他数種
沈水植物	イバラモ	ホザキノフサモ	カワゴケ
	オオカナダモ 外来種	オオフサモ 外来種	他数種



準備中の様子

飼育係のお楽しみDAY

参加体験型の企画で飼育担当者独自のアイデアで実施します。当日13時、動物科学館1階案内前にお集まりください(8月1日以外)。
定員25名 13時30分開始

- 6月 12日(土) アジアゾウ
- 7月 3日(土) フクロテナガザル
- 8月 1日(日) 夕焼けどうぶつえん
往復はがきによる事前応募、詳細は6月15日発表
- 9月 19日(日) アルダブラゾウガメ
- 10月 31日(日) 獣医さんの話
- 11月 21日(日) カリフォルニアアシカ
- 12月 25日(土) 動物科学館
- 1月 16日(日) 飼育係になりたい子どもたちのための講座(定員200名)
- 2月 13日(日) レッサーパンダ
- 3月 5日(土) 家畜の原種ゾーン

お得情報

ドリンクサービス

8月5・12・19・26日のそれぞれ木曜日に
 レストラン・科学館喫茶でお食事を注文の方に
お飲み物をサービス

25周年ランチ

毎月25日にカレーをレストランで
250円で250名様に提供
 (7月は27日)

今年もやります。ちばZOOフェスタ・2010 11月6日(土)・7日(日)

「遊ぶ」「学ぶ」「触る」などをテーマとして始まったフェスタも今回で3回目、市民参加型をよりいっそう拡大し“科学の都ちば”を推進すべく新たに「研究発表部門」を新設いたしました。それらの応募方法をお知らせいたします。

ギャラリー部門

野外テントを個展ブースとして貸出します。
 参加費用/2千円 作品販売可
 募集受付/9月15日まで

新企画

パフォーマンス部門

アニマルコスプレ **11月7日(日)のみ**

動物をモチーフとした仮装であればなんでもOK(11/7仮装で来園された方は入園料金無料)
 園内で着替える方には専用更衣室を用意します。

コンテストも有ります。

正午までに中央広場脇本部席まで。
 グループで参加の場合のみ事前(8月31日まで)に事務局(043-252-7566)までご相談ください。

映像・デジタル部門

ビデオコンテスト・CGデジタルアート部門
 募集受付/9月15日まで

新企画

開園25周年記念

缶バッジ・デザインコンテスト

開園25周年を記念してオリジナル缶バッジの制作販売をします。
 この缶バッジのデザインを3作品採用します。
 募集受付/7月31日まで

新部門

研究発表部門

小学生・中学生・高校生による生物や環境に関する研究成果の発表
 生物は動物に限定しません、植物や微生物の研究もOK。発表済みの作品でもかまいません。

各部門のくわしい応募要項は

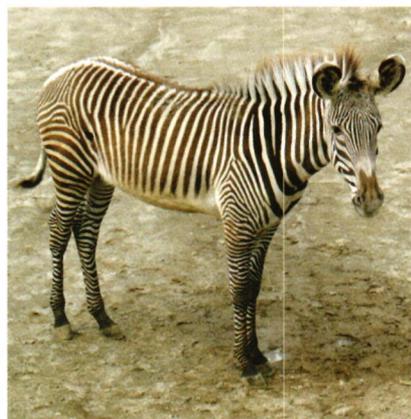
<http://www.city.chiba.jp/zoo/>でご覧の上、指定応募用紙を添えて
 〒264-0037 千葉県若葉区源町280 千葉県動物公園 ズーフェスタ事務局まで。



飼育よもやま話

グレビーシマウマ

今年の3月3日のひな祭りの日に、多摩動物公園から、繁殖協力のためにグレビーシマウマのオス（ライム）を導入しました。ライムは、去年の5月19日に生まれたシマウマのため、園にいる他の3頭のシマウマに比べると体も一回り小さく、きれいです。2週間の検疫期間の間は総合獣舎の通路に出して、便の検査などをおこないます。この間にエサにもなれてもらいます。初めは青草をあまり食べてくれませんでした。乾草と草食用のペレットはよく食べていました。しばらくすると青草にもなれて食べてくれるようになり、検疫期間も終わり初めて展示場に出したときは展示場に慣れさせるため、午後の3時間ほどをライム1頭だけで出してみました。ライムはとても落ち着いていて展示場の中をゆっくりと歩き、エサも残さず食べてくれました。1頭だけの展示を7日間ほどした後に園にいる2頭のメスと一緒に展示場に出してみることにしました。まず初めにオスのライムを展示場に出してから、メス2頭を出すことにしました。ライムは展示場に出るとすぐに朝のエサを食べていましたが、メスのカエデは初めてみるライムが気に入らないのか、追い払ってエサを独り占めしようとして、なかなかエサを食べることができない様子です。2週間も近くの部屋に入っているのに、新しいオスを認識していると思っていたので少し心配になってしまいましたが、もう1頭のメスのシズカが、ライムのことをかばってくれている様子で、ライムの方も、カエデに追われると、シズカの近くに逃げていきます。エサを食べているときもシズカの近くだと落ち着いて食べられるようです。それでも走ったりしてカエデの近くに行ってしまうと、カエデに追い払われて、シズカの所に逃げて行ってしまいます。ライムはカエデのお婿さんにも思っていましたので、カエデには早く、ライムになれて欲しいと思っていました。2ヶ月近くたち、カエデもライムが気に入らない様になり、3頭でエサを食べるようになりました。



2年後にはライムとカエデの子供を見られることを期待しています。

鈴木 克典
(SUZUKI KATSUNORI)



動物公園の動物

マレーバク

平成22年3月4日に、多摩動物公園からマレーバクのサコ（メス）が来園しました。当園に新しいマレーバクが来るのは、ユキミが来園した18年前にさかのぼります。

2年前にオスのヤマトが亡くなってから、ユキミとユメタの親子で飼育していました。ユキミは、年齢が高く、新しいオスを搬入しても、ペアになれるかどうかは解りませんので、ユメタに合うメスを探していました。マレーバクは国内に、40頭ぐらしかおらず、ユメタとの血縁関係がない個体を探さなければいけません。そこで、多摩動物公園からサコを移動していただきました。

サコは、当園に到着してからも輸送箱の中では落ち着いていて、箱からすぐに出て新しい寝室に入り、餌もすぐに食べ始めました。検疫期間中に、食欲が落ちてしまい、体調を一時こわしてしまいましたが、今ではとても元気になりました。性格は非常におとなしく、とても人なつこいようです。顔はまだ幼さが残っています。ただし、バクの特徴である鼻に関しては、ユキミやユメタより少し長いような気がします。

現在は、展示場の関係で3頭を交互に出しているため、週に4日、展示をしています。展示場では非常によく動いて、初めて出したときからプールはとてもお気に入りのようで、よく入っている姿が見られます。今は浅いプールにしか入れませんが、もう少し暖かくなったら、体が沈む深いプールに入れるようにしてあげたいと思います。

サコの年齢が、まだ若干若いので、ユメタとの同居はもう少し先になります。またいつか、かわいらしいウリ坊がお見せできることをお伝えできればと思います。

足立 仁之 (ADACHI MASAYUKI)





動物公園日誌から

'10年1月1日~'10年3月31日

- 1月1日 飼育センター、展示ケースの展示を「ウシの話」から「ヒワコンゴウインコ成長記録」に変更する。シロオリックス(雄)、よく鳴き角を地面にこすりつける。
- 1月2日 ケープペンギン(2羽)、孵化。
- 1月4日 **新春お年玉プレゼント・干支の引継ぎ式開催**
フクロテナガザル(雄)、鼻水と咳が続くため風邪薬投与。ケープペンギン、午後、雛の声を確認。
- 1月5日 チンパンジー(ジージョ)、発咳。フクロテナガザル、追尾行動。
- 1月8日 シジューカラガン、雌1羽が他の個体に攻撃を受け負傷したため入院。ペアの雄も一緒に隔離する。
- 1月10日 フクロテナガザル、本日は咳の確認はなし。追尾行動はピーク。
- 1月11日 ヒワコンゴウインコ(仔)、マイクロチップ挿入。ケープペンギン(雛1羽)、死亡(死因不明)。
- 1月12日 ダチョウ(雄1羽)、安房拓心高等学校より搬入。
- 1月13日 オオカンガル(雄、エイイチ)、朝はやや元気がない様子だが餌は食べている。
- 1月16日 オオカンガル(雄、エイイチ)、採食はあるがポーっとしていることが多い。
- 1月18日 サル比較舎、止まり木や消防ホースを設置。
- 1月19日 オオカンガル(雄、キチ)、死亡。
- 1月20日 パタスザル(雌)、雄により右手首から肘にかけてケガをする。ゴリラ(モンタ)、実習生に対して鳴いている。第138回関東東北ブロック動物園技術者研究会開催。
- 1月21日 パタスザル(雌)、麻酔下で治療、入院。
- 1月22日 ビーバー(仔、ラン)、朝は青草を食べていたが夕方の給餌時は全く動かなかった。ひっくり返ってケイレン状の動きがみられる。室内に収容し保温、抗生剤等の注射を行う。
- 1月23日 ビーバー(仔、ラン)、朝は目が半開きでうつろな様子。薄切りのサツマイモを渡すと手を震わせながら受け取る。5枚を完食し、勢いが出てくる。時折立ち上がるなど朝より元気。
- 1月24日 シロオリックス(ラザニア)、11:30頃と15:30頃、放飼場を走り回る。
- 1月25日 ニホンリス(雄2、雌2)、東京都井の頭自然文化園より搬入。トナカイ、コマチの角の皮がかなりむけてくる。
- 1月26日 **ダチョウ(雄1羽)、検査明けのため放飼場へ出す。雌がくると争うが雌が逃げる。**
- 1月27日 カラフトフクロウ(雌)、新着。エミウの餌台にカラス除けのトゲをつける。ワオキツネザル(3頭)、搬出。
- 2月1日 レッサーパンダ、風太がよく鳴き、チチチも気にしている。
- 2月3日 パタスザル(雌)、退院。アフリカヘラサギ(1羽)、孵化。
- 2月4日 アフリカヘラサギ、人工育雛開始。
- 2月6日 フクロテナガザル(雌)、収容後、咳と鼻水がひどく熱がある様子。室内を目張りし、電気ヒーター等で保温。パタスザル(雌)、群れに戻す。特にトラブルなし。
- 2月7日 バードウォッチング開催。
- 2月8日 フクロテナガザル(雌)、鼻水、咳が続く。食欲もなく開口呼吸をする。電解質液を飲ませる。
- 2月9日 ハワイガン、識別用のバンドを交換する。
- 2月11日 フクロテナガザル(雌)、鼻水が減る。咳もほとんど見られず。
- 2月12日 パタスザル、追い回しが激しい。
- 2月14日 パタスザル、相変わらず、追い回しが激しい。No. 15がトラブルメーカーの様子。エジプトハゲワシ、工事のため展示中止。バレンタインミニ音楽会開催。



- 2月15日 パタスザル、No. 15、18を予備室に移動する。
- 2月16日 ヒワコンゴウインコ、室内に巣箱設置。2羽でかじるなどあまり警戒した様子なし。
- 2月17日 ニホンリス(雄2、雌2)、検査明けで子ども動物園に移動。
- 2月21日 トナカイ(コマチ)、左角落角。
- 2月22日 バカ、麻酔下で歯の診察を行う。異常は見られず。
- 2月24日 ダチョウ、雌1羽が寝室に入らないため、雌を2羽とも出したままにする。
- 2月25日 オグロマーモセット(雄2、雌2)、シロガオマーモセット(雄1、雌1)、ワタボウシパンシエ(雄2、雌2)搬出。エリマキキツネザル(入院個体)、麻酔下で胸腔穿刺し、胸水を抜く。
- 2月27日 アフリカヘラサギ、卵の殻が池の中にあり、血管がある有精卵であった。巣より雛の声がした。トナカイ(コマチ)、右角落角。テンジクネズミ、不正咬合のため、歯を整える。ヒロハシサギ、朝、巣を放棄していたので確認すると雛が冷たくなっていた。育すう室に移動し保温すると昼くらいに動くようになる。人工育雛を開始する。
- 3月2日 オオカンガル(エイイチ)、死亡。
- 3月3日 グレビーシマウマ(雄1、ライム)、多摩動物公園より新着。マレーバク(雌1)、多摩動物公園より来園。
- 3月4日 フクロテナガザル(雌)、夕方、入室を渋る。収容後、くしゃみと鼻水が出る。
- 3月6日 エリマキキツネザル(入院個体)、死亡。横浜市動物園友の会来園。
- 3月7日 レッサーパンダ、風太、チチチ交尾。
- 3月11日 レッサーパンダ、風太、チチチ交尾。
- 3月12日 ワンポイントウォッチング開催(コツメカワウソ)
- 3月14日 フンボルトペンギンの卵(1卵)、犬吠埼マリナーパークへ移動。
- 3月15日 アメリカビーバー(雄1)、犬吠埼マリナーパークへ搬出。
- 3月16日 **ワオキツネザル(2頭)、繁殖。授乳確認する。**アフリカヘラサギ、雛が昼頃少しの間だが、巣で立ち上がった。
- 3月18日 ケープペンギンの雛、よく泳ぐ。
- 3月21日 エジプトハゲワシ、工事終了のため展示場へ戻す。ZOOクイズラリー開催。
- 3月22日 ヒワコンゴウインコ、抱卵(1卵は確認)。
- 3月23日 グレビーシマウマ(ライム)、雌2頭(シズカ、カエデ)と一緒に展示場へ出す。カエデに近づくと追われるが、シズカとは仲良くしている。
- 3月25日 マンドリル、室内で3頭同居。
- 3月26日 エミウ(2羽)、狭山市立智光山公園こども動物園へ搬出。マガモ(雄1、雌1)、アカハシハジロ(雌2)、オシドリ(雄1、雌1)狭山市立智光山公園こども動物園より搬入。カイウサギ(フレミッシュジャイアント)(雌1)、ヨシガモ(雄1、雌1)、オナガガモ(雄1、雌1)、シチメンチョウ(雄1、雌1)搬入。ロバ(雌1)、ビーバー(雄2)、ヒオドシジュケイ(雄1雌1)搬出。ワオキツネザル(1頭)、繁殖。
- 3月29日
- 3月30日



編集後記

今年は、開園以来初めて経験したほどの寒暖の差の激しい4月、GWになっても園内では桜が楽しめ、当園の25周年を桜が祝ってくれているようでした。今年度は、毎月「飼育係によるお楽しみDAY」を開催し、多くの皆様に普段とは違った園内の様子を楽しんでいただけるよう工夫をこらしています。また、市民の皆様から応募いただいた「25年間の思い出の写真」の展示もご覧いただければと思います。ぜひ、深緑の動物公園へ足をお運び下さい。

どうぶつこうえんニュース編集委員



ニホンリス

動物取扱業者標識	
①氏名又は名称	千葉市
②事業所の名称	千葉市動物公園
③事業所の所在地	千葉市若葉区源町280
④動物取扱業の種別	展示
⑤登録番号	第50015号
⑥登録年月日	平成19年7月30日
⑦有効期間の末日	平成24年7月29日
⑧動物取扱責任者	飼育課長 小林 正典



サポーター会員募集

(財)千葉市動物公園協会では、動物に関する知識と動物愛護の精神を普及することを目的に「サポーター会員」を募集いたします。

年会費(入会日~翌年入会月末)

個人会員 1口 1,000円

法人会員 1口 10,000円

オリジナルグッズ
プレゼント

サポーターズデイに
無料ご招待

お問い合わせは ☎043-252-1111



Information

平成22年6月~8月の催し物一覧

6月13日 日 ファミリーシアター

6月27日 日 ワンポイントウォッチング③(ハシビロコウ)

7月4日 日 セタミニ音楽会

7月21日 水・22日 木・23日 金 サマースクール **事前申込制**

7月25日 日 紙芝居会

8月8日 日・15日 日 夏休み講演会

8月28日 土 Zooキッズデー **事前申込制**

詳しくは <http://www.chibazoo.net/> どうぞ

法人サポーター会員 (順不同)

- (株)動物公園協会の会
- 千葉県米穀(株)
- (株)さわらび
- ジェノスグループ(株)
- 大西総業(株)
- (株)ニッセイアド
- 千葉都市モノレール(株)
- 利根コココーラボトリング(株)
- エパタ株式会社
- 東急建設(株)
- (株)小柳組
- (財)千葉市国際交流協会
- 玉山商会
- (株)和光物産商会
- (株)新星医薬商事
- (有)カンダ事務機
- 千葉商工会議所
- 久野インターナショナル
- (株)加藤緑花土木
- ノザキ建工(株)
- 関東フローズン(株)
- 日東パシフィックベンディング(株)
- (株)石綿竹松商店
- (株)AQUA
- (株)シューエイ商行
- 伸光エンジニアリング(株)
- 千葉市建設コンサルタント協会
- (株)環境技研コンサルタント
- (株)久世
- (株)的場
- 千年杉建設(株)
- (株)伊藤工務店
- (有)三栄舗装工業
- 千星会
- 西原工業(株)
- (社)千葉市観光協会
- (株)西原テクノサービス東関東支店
(22年4月現在)

どうぶつこうえんニュース第76号
平成22年6月1日発行

編集
発行

千葉市動物公園 <http://www.city.chiba.jp/zoo/>

(財)千葉市動物公園協会 <http://www.chibazoo.net/>

〒264-0037 千葉市若葉区源町280番地 280 Minamoto-cho Wakabaku Chiba-city Japan.

【総合案内】☎043-252-1111